



未来を夢見て

2020/12/18 No. 53

新しい生活様式での学校のあり方を考える

～宮城県仙台教育事務所・大和町教育委員会とのネットワークづくり・授業参観を通して～

12月17日（木）業間。全校放送が流れます。本校の児童は「聞く」ことに長けていて、放送があるとそれまでどんなにがやがやしていても一瞬で「しん」となります。

堀田先生の凜とした声でまず一喝。「みなさん、きちんと聞いていますか?」。すでに教室は、今日の業間は外に出ることを約束されているかのような子供たちの熱気(?)で溢れているようでした。そして優しい声で「遊んでいいですよ」のアナウンス。子供たちにとっては待ちに待った雪遊び解禁です。写真はこの日の業間の風景。本校自慢の若手教員2名が体を張って子供たちと雪合戦をしています。当分、小野小学校は安泰ですね。それは、このように「子供と本気で遊ぶことのできる若手」がいるからです。



ちなみにこの日の給食はクリスマスメニュー。キャロットピラフにポトフにチョコレートケーキ、さらにはクリスピーチキンという豪華メニューでした。数多くの給食を頂いてきた私ですが、間違いなく大和町の給食は最高レベルです。



さて、下段左の写真は遂に Google Meet で宮城県仙台教育事務所、大和町教育委員会、そして本校が繋がった瞬間です。実現までには、島貫先生、堀田先生の人並み外れたスキルだけでなく、宮城県仙台教育事務所の松野広主幹、大和町教育委員会の高橋義行主任の献身的なサポートがあったからこそです。

今回オンラインで繋がったことが一番の収穫ですが、目的を共有し実現するまでに掛けた時間や苦勞の分、今まで以上に事務所や委員会の担当の方々とのネットワークが強固になったことも収穫です。

12月18日（金）。今日から今年度初めての授業参観が23日（水）まで連日行われます。受付には国の学校保健特別対策事業費と大和町教育委員会からの補助で購入した2台のサーモグラフィを設置し保護者の皆様の検温をスムーズに進めました。心配していた三密の状況も分散開催が功を奏して回避され、初日おいでになった136名の保護者の皆様にも安心して授業を参観していただくことができましたものと思われます。この後、夜にはPTA地区委員会、子供安全見守り隊連絡協議会がこれも今年度初めて実施されます。

本日、宮城県新型コロナ危機宣言が出されました。まだまだ感染症との戦いは続きそうです。感染症対策を踏まえた新しい生活様式の中で「子供のために何ができるのか」を学校に関わるたくさんの方々と一緒に考え、できない理由を探す学校ではなく、できる理由を見つけることの学校でありたい、と強く思う1日でした。

(文責:手代木)